

優れた競技成績を持つ高校野球部の勝つために必要な監督とキャプテンの連携を探る

—東京都の高校野球部における事例研究—

The search of the cooperation that leads to victory between the head coach and the captain
belonging to high-school baseball club that has good records.

-The case study of high-school baseball club in Tokyo-

1K09B083-6

指導教員 主査 堀野博幸 先生

小柳 周太

副査 倉石平 先生

【目的】

チームスポーツにおいて勝つためにはチームマネジメントが重要となる。チームマネジメントの中でもチーム全体をまとめる監督と選手間のリーダーであるキャプテンが連携することは大変重要なことである。監督とキャプテンがチーム勝利という共通目的を達成するために連携をとることでより好成績を残すことが出来ると考えた。

強豪校の監督とキャプテンの連携を調べ、監督やキャプテンの勝つためにする行動や考えを抽出し、勝つことを目的とした時の監督とキャプテンの連携に必要な要素を検討する。

【方法】

1. 対象

1) 2012 年の春季東京都大会においてベスト 8 以上の高校

2) 選抜高校野球選手権大会出場高校

のいずれかに当てはまる高校から 6 校を対象とした。そして 6 校の監督とキャプテンの 2 名を対象とした。

2. データ収集

本研究では、北村ほか（2005, 2007）の研究を参考に調査を 1 対 1 の深層的、自由回答的、半構造的インタビューにより実施した。そして、監督とキャプテンの 2 人別々にインタビューを行った。

【結果】

A 高校では「選手としての活躍」、「方向性の一致」、「支援」の 3 つのカテゴリーに分類された。そして、男子マネージャーを採用することで監督とキャプテンの間に立つことの出来る人間を作り、監督とキャプテンの連携を円滑にしている。

B 高校では「キャプテンの成長」、「方向性の一致」、「信頼関係」、「支援」という 4 つのカテゴリーに分類された。「キャプテンの成長」ではキャプテンが監督の代わりを出来ることを望んでいる。また、監督が心的支援としてキャプテンを励ましている。

C 高校では「キャプテンの成長」、「方向性の一致」、「信頼関係」、「支援」の 4 つのカテゴリーに分類された。C 高校においてはキャプテンを育てることが重要視されており、最後はキャプテンにチームを任せるという考えを持っていた。

D 高校では「キャプテンの成長」、「方向性の一致」の 2 つのカテゴリーに分類された。キャプテンとチーム両方の成長が必要であると考えている。監督はあまり関わらず、キャプテンを中心に組織作りをさせている。

E 高校では「選手としての活躍」、「方向性の一致」、「信頼関係」の 3 つのカテゴリーに分類された。監督とキャプテンが同じ方向性を持つことを重要視している。また、「信頼関係」と「方向性の一致」が相互に関係していることが分かった。

F 高校では「選手としての活躍」、「キャプテンの成長」、「方向性の一致」、「信頼関係」の 4 つのカテゴリーに分類された。結果を残すことが監督とキャプテンの信頼関係の構築に繋がっていた。

【考察】

強豪校において勝つための監督とキャプテンの連携は「方向性の一致」、「キャプテンの成長」、「選手としての活躍」、「信頼関係」、「支援」という 5 つの要素があった。その中でも最も重要なカテゴリーが「方向性の一致」であった。

チームの勝利に繋げるために、監督とキャプテンが同じ方向性を持ち、方向性に関してお互いに補完し合うことでチームの方向性を確固たるものになるよう連携していると考えた。

また、キャプテンを中心に選手一人一人が動くことの出来るチームを作ることが勝利に繋がると考え、キャプテンの成長に力を入れていることが分かった。そして、監督がキャプテンの成長や、キャプテンが選手として活躍するために支援しているという連携も分かった。その支援の形は多様であるが、本研究では A 高校で男子マネージャーを採用したことが今後の新しいチームマネジメントの形であると考えた。マネージャーを採用することで、監督とキャプテンの連携を円滑にすることが出来る。

そして、方向性を一致させ、キャプテンを成長させるためには監督とキャプテンの信頼関係の構築が必要になることが分かり、その信頼関係の構築には「指導」、「共通の目標を持つ」、「結果を見せる」という方法があると考えた。